

| | | | |
|------|---|-------|-------|
| 受付番号 | 6 | 受付月日 | 5月27日 |
| | | 午前・午後 | 5時00分 |

東郷町議会議長 加藤宏明 殿
 東郷町議会議員 会派名 新東会
 議席番号 13 番氏名 近藤鑛治

一般質問通告書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|--------------------|---|------------|
| 1 带状疱疹予防接種について | <p>日本人成人の90%以上は、带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏していて、50歳台から発症率が高くなり80歳までに約3人に1人が带状疱疹になると言われています。また、50歳以上で带状疱疹を発症した人のうち、約20%の方は3ヶ月以上痛みが続く、带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性もあると言われている。この対応について伺う。</p> <p>(1) 带状疱疹後神経痛（PHN）による後遺症について。</p> <p>(2) 50歳を過ぎたら带状疱疹の予防接種ができると言われているが、費用についてどれくらい掛るか。</p> <p>(3) 名古屋市・刈谷市・大府市では、带状疱疹予防接種費用の一部助成を実施されているが本町で取組みの考えは。</p> | 町長 担当部長 |
| 2 4月に実施された町長選挙について | <p>今回の町長選挙の投票率をみると44.83%前回と比較して2.44%減の結果となった。このことについて伺う。</p> <p>(1) 投票率が下がってしまった要因は。</p> <p>(2) 今回告示前の広報活動は、どのようなであったか。</p> <p>(3) 期日前投票率を含めた自治区別の投票総数及び投票率が公表しないのはなぜか。</p> <p>(4) 今回の投票入場券は、何日にお届けする予定であったか。有権者からの投票入場券の間</p> | 町長 担当部長 |

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

| 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|-------------------------------|---|--------------------|
| <p>3 「水と緑とボートのまち」の取組みについて</p> | <p>い合わせはなかったか。その対応はどのようにされていたか。</p> <p>(5) 今後の選挙での投票率向上の対応策は。</p> <p>令和3年10月に「東郷町スポーツ推進計画」の中間見直しを行うため、実施されたアンケート結果からその後どのような対応をとっているか伺う。</p> <p>(1) ボートについて情報提供 もっと情報提供を行って欲しい。(45.6%) ア 庁舎玄関前のボート展示の整備は。 イ 町民会館前の駐車場に設置されていた「水とみどりとボートのまち東郷」の広告塔の設置は。 ウ 愛知池ボート漕艇場で年間どのような大会が行われているか。また、その発信はどのようなになっているか。</p> <p>(2) ボートに乗ってみたい(乗る人が増える)ための条件として ア 小中学生の時にボート体験する機会を増やす。(55.5%) (ア) 高嶺小学校の授業で実績があるが、他校にも取り入れる事はできないか。 イ 初心者向けの体験の機会を増やす。(55.4%) (ア) 毎月1回(第3日曜日午前中) TOGO スポーツクラブとして、スポーツ推進委員の方で指導できないか。 ウ 愛知池漕艇場で気軽にボートに乗れる環境の整備をする。(44.9%) (ア) 予約制にして、ボート協会、愛知東郷ボートクラブに指導をお願いできないか。</p> <p>(3) 本庁の魅力事業「ボートのまち東郷」の今後の取組みについて。 ア 町内企業及び各種団体に「ボート部」設立のお願いする事はできないか。 イ 冬場の町民エルゴ大会を開催すること</p> | <p>町長 担当部長</p> |

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|---------------------------|---|--------------------|
| <p>4 東郷町公共施設等総合計画について</p> | <p>はできないか。</p> <p>平成 29 年 3 月に作成された(令和 38 年まで 40 年間)東郷町公共施設等総合管理計画が、令和 4 年 3 月に見直しが行われた。</p> <p>公共施設等の管理に関する基本的な考え方及びマネージメントの推進体制について伺う。</p> <p>(1) 公共施設等の長寿命化の推進</p> <p>ア 予防保全型管理方法による効果について。</p> <p>(2) 施設保有量の最適化</p> <p>ア 公共施設の適正保有量を検討したうえで必要に応じて総量の抑制の検討を行う。</p> <p>現在 67 施設 156 棟あるが、どのように考えているか。</p> <p>イ 新規に必要となった場合は、既存施設の有効活用や用途変更、適正規模の検討や複合化、多機能化等の手法を検討する。</p> <p>具体的にどのようなことを考えているか。</p> <p>(3) 適切な維持管理の推進と財源確保</p> <p>ア 各施設の施設重要度や施設劣化度、提供するサービスの質や重要度を踏まえ各施設の「個別施設計画」等が作成され、当初計画策定後に組織した「公共施設等維持管理推進庁舎内検討委員会」において全庁横断的に個別施設（長寿命化）計画と本計画の整理、修繕や更新に当たって優先施設の調整や進捗状況を共有して進めて行く。</p> <p>具体的に調整された内容は、いつ確認することができるか。</p> <p>イ 老朽化した公共施設等の更新を民間事業者の資金やノウハウを活用していく。</p> <p>具体的にどのような事を考えているか。</p> <p>ウ 財源として、補助金や地方債、公共施設整備基金の活用を進める。</p> <p>公共施設等試算結果では、修繕・更新費用 11.4 億円/年間必要の試算がされている、財源見通しは。</p> | <p>町長 担当部長</p> |

(注) 要旨は、具体的に記載すること。